

• フォルトウナ

8AWK1145
阿部未空
2010-6-1

フォルトウナとは

- ローマ神話における運命の女神
- 名前の由来はラテン語の"fero" ("もたらす"の意)と同語源。
- 英語の"fortune"の語源。
- 幸運の女神ともいわれ、タロットカードの運命の輪のモデルにもなっている。
- 本来は豊穡や多産の女神、または地母神。

カルミナ・ブラーナ (世俗的カンタータ)

- 12~13世紀の中世ヨーロッパの放浪学生や若い聖職者によって書かれた200余りの詩と歌が19世紀になって発見、出版された写本のこと。
- それを、ドイツ作曲家のカル・オルフ (Carl Orff) が曲として書いた。本人いわく、「この写本を手にした1934年の聖木曜日は忘れられない。最初のページには有名な『運命の女神の車輪』の絵があり、下に詩が記されていた。絵と言葉はたちまち私を虜にし、すぐに新たな作品、歌い踊るコーラス付きの舞台作品の構想がわきおこったのだ。その日の内に主題曲を完成させてしまった」



• 幸運の女神ともいわれ、タロットカードの運命の輪のモデルにもなっている。

←聞いた感じ面白い髪形なのに、暗くてよく見えないので残念です。

いえ、やっぱりよくはわからないんですけど・・・

- ローマ神話の女神、タロットカードに記載といても、あまりにも資料が少なすぎたので。
- よく、西洋美術などに描かれている。
→運命の車輪が描かれている場合、「運命は、車輪のように、良い事と悪い事が巡って来ますよ」というのが読み取れる。
- ギリシャ神話では「テュケー」に。
- ローマにもともといた"フォルトウナ"という女神は、「女性を守って、信託を授ける運命の女神」だった。

- 「初春に」「酒場で」「愛の誘い」の3部構成。その前後に序章、エピローグがつき、この序章とエピローグ「全世界の支配者なる運命の女神」がフォルトウナを意味してる。
- カンタータというのは、元々は「歌われる」という意味。大体、有名なカンタータは「教会カンタータ」というもの。「神に捧げる」曲なのですが・・・一応、歌詞の中身は宗教色強いので・・・笑
- 一度、字幕付きの映像を見ましたが、その時の感想
 - 初春に・・・春になってHappy!!
 - 芝生の上で(これも初春にの一部)・・・頭が寒くなってきたから、幸運もツルツル滑って、どっかに行ってしまうよ!
 - 愛の誘い・・・発情の歌

とても聖職者が書いたとは思えませんね。
だから封印されていたんでしょうか。

参考

- <http://www.geocities.jp/MusicHall/6654/karumina3.htm>
- <http://www.yamaha.co.jp/edu/dictionary/>
- ウィキペディア

テュケーとの比較

フォ：豊穡や多産の女神、または地母神。
「女性を守って、信託を授ける運命の女神」

テュ：都市の財産と繁栄、そしてその運命を司る中心的な女神であった。

↓

だからこそ
ギリシャ・ローマで同一視された
・・・のではないだろうか？

そんなフォルトウナが
出てくる音楽が